

平成17年9月6日大水害

あれから10年

教訓は生かせるか：

>16<

パネルディスカッション

「災害の教訓を生かす」
自助・共助・公助

【杉尾】では続いて、
亀長さん、川水流での
被災状況を紹介くだ
さい。

【亀長】北方町全部に
かなりの被害が出てい
たんですけども、そ
の中で川水流地区内の
このみを報告させて
いただきたいと思います。

台風14号で床上浸水
した家屋が全部で64
戸、そのうち全壊が14
戸、半壊が30戸、一部
損壊が4戸ありまし
た。床上浸水は15戸で
した。日ごろは静かに
流れ人々に癒やしさえ
与えてくれるこの五ヶ
瀬川ですが、いったん

家が隠れてしまいまし
た。この台風14号のた
めに川水流鉄橋とうき
ぎ橋（つり橋）が流さ
れております。

水が一番出たのが午
後1時前後じゃなかろ
うかと記憶していま
す。私も現場に行っ
ておまして、12時半か
ら1時ごろだったと思
いますが、国道あるい
は鉄橋を乗り越えた水
が一気に流れ込んでき
ておりました。

【福島】消防団も災害
情報に基づいて招集を
かけ、各分団、各部、
機庫待機をまっす行い
ました。それから、台風
が近くに従い、いろ
んな所から災害の状況
が送られてきたところ
であります。



亀長警氏



福島宏一氏

川の流れ、一気に役場周辺へ

川水流 床上浸水64戸、うち14戸全壊

ました。
おかげで水の回りも
速く、逃げ遅れた人も
いたようです。でも、
ちょうど昼の時間でし
たので、1人の犠牲者
も出ることなく、素早
く避難することができ
ました。

【杉尾】では続いて、
福島さん、消防団の活
動状況を教えてください。

【福島】消防団も災害
情報に基づいて招集を
かけ、各分団、各部、
機庫待機をまっす行い
ました。それから、台風
が近くに従い、いろ
んな所から災害の状況
が送られてきたところ
であります。

それに対し、国道2
18号への越水を防止
するために消防団が土
のう積み工法を行った
のはもちろん、延岡市

浸水地区では日没後も孤立した住民の救助作
業が続いた（平成17年9月6日午後8時すぎ、
延岡市岡富町）



一円にわたり、それぞ
れの分団がそれぞれの
災害に対応をしまし
ました。国道218
号は一番大きな災害を
被りやすい場所だった
のかなと思います。
時間の経過とともに

に、それぞれの所から
いろんな被害が報告さ
れてきました。例えば、
細見町、上三輪町など
で逃げ遅れた住民が助
けを求めているという
ことを傍受しましてす
ぐ、その地域にある南
方分団が住民の救助に
当たっております。
また中央分団では、

川原崎の年配いた住民
の方も救助を求めてお
りまして、即それに当
たっております。各分
団がそれぞれの形で、
全てそいつたことに
従事しました。

【杉尾】大変な状況の
中でいろいろと活動
いただいたということが
よく分かります。

コーディネーター
杉尾哲（宮崎大学名
誉教授）

パネリスト
首藤正治（延岡市長）
岡師雄一（宮崎県
土整備部長）

大塚法晴（元延岡河
川国道事務所所長）
森川幹夫（九州地方
整備局河川部長）

猪狩信浩（NPO法
人宮崎県防災士ネット
ワーク理事長）

福島宏一（元延岡市
消防団長）

亀長警（元北方町川
水流区長）

防災・減災を考える
シンポジウムから――